

事業報告書

1. 代表者の企業概要について

名称 中央環境開発 株式会社
代表者名及び役職名 代表取締役 太田 敏則
住所 神奈川県横浜市金沢区鳥浜町 12-39

2. 事業期間について

開始 平成 22年5月27日
終了 平成 23年3月31日

3. 事業の実施状況について

① 実施テーマ

廃石膏ボードのリサイクルサービスの事業化

② 事業の具体的な取組内容

- (1) 廃石膏（リサイクル石膏）を視覚障害者用の点字ブロックに利用するため専用のブロック成形機を試作した。
- (2) 成形機で廃石膏を18%混入し点字ブロックを試作し強度検査を実施した。

③ 事業成果（概要）

- (1) 専用成形機により一定の石膏粉を混入させることが可能となり材料を安定することができた。（既定材料：セメント・砂・砂利・水+廃石膏）
- (2) 廃石膏を従来の砂・セメントの代用品として使用することにより、従来品に比べ20%の軽量化が図れた。（従来品13kg→10.3kg）
- (3) 強度についても基準値の4N/m²をクリアした。

（参考：平成13年9月制定 J I S T 9251 による基準）

- ① 大きさは1辺30cm以上
- ② 点頂部の直径は12mm、線頂部の幅17mm・長さ270mm以上
- ③ 点・線の高さは5mm
- ④ 点の間隔は中心間で55~60mm、線の間隔は中心間で75mm
- ⑤ 強度は4N（ニュートン）/m²以上

- (4) 一番の課題であった強度がクリアしたことにより J I S 規格品として

出荷できる見通しが立った。特に本年度は、視覚障害者のホームからの転落事故を受けたJR東日本330駅の補修・改修や東日本大地震による復興工事の大口需要が見込まれているため、秋口までには本格的な出荷体制をとるようにしたい。



[写真 1]



[写真 2]

写真 1 試作した廃石膏入り点字ブロック (警告用)

写真 2 〃 (誘導用)



[写真 3]



[写真4]

[写真3] [写真4] 廃石膏入り点字ブロックを試作する。今年秋までには市場で流通する見通し。